

令和07年04月01日 記者発表資料 特別展開催のお知らせ

特別展「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」

四日市市立博物館



©Hiroshi Kagaku

1. 展覧会概要

◆展覧会名称

特別展「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」

※略称は「かがくいひろしの世界展」

◆会期

令和7年4月12日(土)～6月1日(日)

休館日 毎週月曜日 ※5月5日(月・祝)は開館し、5月7日(水)は休館

午前9時30分から午後5時 (入場は午後4時30分まで)

◆会場

そらんぼ四日市(四日市市立博物館) 4階 特別展示室

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号

TEL059-355-2700

◆観覧料

一般 1,000 円、高・大学生 600 円、中学生以下無料

◆主催等

主催：四日市市立博物館

後援：中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、三重エフエム放送、(株)シー・ティー・ワイ CTY-FM、NHK 津放送局

特別協力：加岳井久美子、渡辺直子、加岳井武志、ブロンズ新社、沖本敦子、山崎敬三

協力：講談社、PHP 研究所、佼成出版社、教育画劇、偕成社、玄光社、白泉社、特種東海製紙、絵本ナビ、人形劇団ブーク、ロバの音楽座

監修：水島尚喜(聖心女子大学教授)

クリエイティブデザイン：柿木原政広(10 inc.)

映像：べんぴねこ

企画制作：堀川佳子、文化企画

◆開催概要

累計発行部数 1000 万部を超え、子どもたちに広く愛される絵本「だるまん」シリーズ。作者のかがかういひろし(1955～2009 年)は特別支援学校のベテラン教員でした。50 歳で作家デビューし、病で急逝するまでのわずか 4 年間に、珠玉の絵本を次々と生み出しました。読み聞かされると自然に体が動き出し、大きな笑い声を呼び起こす「かがういひろしの絵本」は、長年にわたる障がい児教育の現場経験で培われた知見や実感から生みだされたものです。本展は、かがうい没後初の大回顧展であるとともに、東海地方初の開催となります。絵本原画や制作資料とともに、教員時代の貴重な映像記録や生徒たちとつくった教材などから足跡をたどり、今この瞬間にも日本中の子どもたちを笑顔にしているかがうい絵本の魅力に迫ります。

◆広報文①(43 字)

「だるまん」シリーズを生み出した絵本作家の、知られざる人生と絵本の魅力に迫る展覧会。

◆広報文②(95 字)

子どもたちに広く愛される絵本「だるまん」シリーズの原画や幻の続編、また特別支援学校の教員であった作者の貴重な映像記録や生徒と作った教材などから、「かがういひろしの絵本」の魅力を紹介します。

◆広報文③(159 字)

累計発行部数 1000 万部を超え、子どもたちに広く愛される絵本「だるまん」シリーズ。作者のかがかうい

ひろし(1955-2009)は長く特別支援学校の教員を務め、50歳で作家デビューを果たすと、珠玉の絵本を次々と生み出しました。本展では、絵本原画やアイデアノート、教員時代の教材などから作家の足跡を辿り、「かがくいひろしの絵本」の魅力に迫ります。

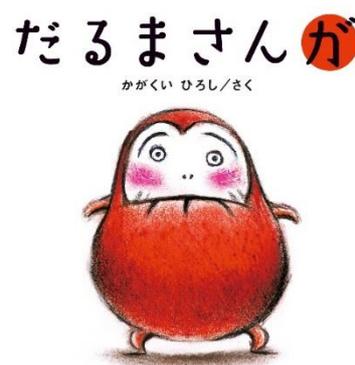
◆作品数

約120点

2. 展覧会のみどころ

◆絵本 16 作品すべての原画を展示

かがくいは、絵本作家として活動したわずか4年の間に16作品(没後刊行含む)もの絵本を生み出しました。世に送り出した絵本は、どれ一つ絶版になることなく、今もなお多くの子どもたちに読み継がれています。



『だるまさんが』 2008年 ブロンズ新社

◆「だるまさん」シリーズの続編！未完作品を一挙公開

「あと3年は(絵本にできる)ネタがあるよ」と語っていたかがくい。「だるまさん」や「まくらのせんになん」の続編をはじめ、数々の構想をラフ・習作としてのこしています。会場でしか目にすることができない絵本の卵たちに、会いに来てください。

◆絵本のルーツ～かがくい先生の横顔、教員時代の資料～

かがくいは特別支援学校の先生でした。28年間にわたり、様々な障がいのある子どもたちと過ごすなかで、どうやったら興味をもつか、笑ってくれるか、懸命に考え、工夫を凝らした教材をつくりました。動くものに興味を示す子が多いことに気づき、人形劇も手がけました。展覧会では、奇跡的に残っていた教員時代の資料や映像をひもとき、かがくい先生の横顔と絵本のルーツに迫ります。

◆創作の後景～81冊のアイデアノート、家族へのまなざし～

かがくいは、いつもノートやスケッチブックを持ち歩き、興味を魅かれたものやアイデア、予定や雑記など、何でもメモする人でした。こうしたメモのいくつかを組み合わせ、ラフを描きながら構想を練り、絵本に仕上げたのです。のこされた81冊のアイデアノートから、かがくいの頭の中をのぞいてみましょう。かがくい絵本に出てくるのは、やかん、みみかき、布団、食べ物といった、身のまわりにあるものばかりです。座布団やスリッパを見ていると動き出しちゃう…そんな見立てのおもしろさが大好きでした。絵を描く場所も、家族が過ごすリビングのすぐ横。かがくいは、ぬくもりに溢れた小さな生活の間から、日本

中の子ども達を笑顔にする絵本を生み出していきました。

◆だるまさんと一緒にあそぼう！映像アトラクション

会場限定で、だるまさんを始めとするかがくい絵本のキャラクター達が登場するアニメーションを公開します。

3. 関連行事について

①記念講演会『人間「加岳井広」を語る』(事前申込制)

本展を監修し、また、かがくいひろしの親友でもある水島尚喜氏をお招きして、かがくいひろしの魅力や絵本の創作エピソードなどをお話しいたします。

日時:令和7年4月12日(土) 14:00~15:00(13:30 開場)

講師:水島尚喜さん(聖心女子大学現代教養学部教授、絵本学会会長)

場所:1階 講座室

参加費:無料(ただし、当日の観覧券が必要です)

定員:50名(応募多数の場合は抽選)

②ワークショップ「かがくいさんのへび人形をつくろう」(当日随時参加受付)

日時:4月29日(火・祝)、5月24日(土) 各日13:00~15:00(製作時間は15分程度)

場所:4階 ロビー(特別展示室 出口付近)

参加費:無料(ただし、当日の観覧券が必要です)

対象:どなたでも ※未就学児から小学生のお子さまは保護者同伴

定員:各日50名(先着順)

③絵本の読み聞かせ会(事前申込制)

日時:5月11日(日) 14:00~14:30

読み手:中部読み聞かせサークル

場所:1階 講座室

参加費:無料

対象:未就学児から小学生のお子さまと保護者(1組3人以内)

定員:30名(応募多数の場合は抽選)

④ベビーカーDAY(事前申込不要)

日時:4月20日(日)、5月18日(日) 各日9:30~12:00

対 象:乳幼児と保護者

場 所:館内

参加費:無料(展覧会への入場は別途当日の観覧券が必要です)

内 容:子育て世代大歓迎!この時間は声を出しても泣いても大丈夫。お子さんと一緒に、展覧会をご覧ください。もちろん一般のお客さんも大歓迎です。館内が少しにぎやかな日になりますが、ご了承ください。※館内に授乳室・救護室の用意があります。

※事前申込制のイベントの申込方法

開催日の1カ月前から 10 日前(必着)までに、申込フォームまたはハガキで、イベント名・名前(フリガナ)・電話番号をご記入のうえ下記へお送りください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

[申込フォーム]右のQRコードまたは当館ホームページ「イベントのお申し込み」より

[ハガキ]〒510-0075 四日市市安島1-3-16 四日市市立博物館 企画普及係



◆広報用画像

画像データをご希望の場合は、画像番号を明記のうえ、当館までメールにてご連絡ください。

【掲載条件】

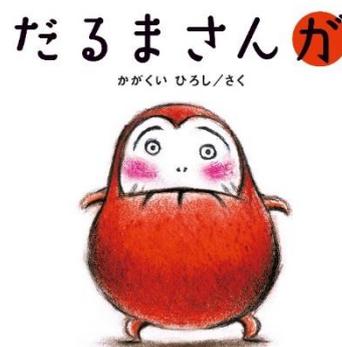
- ・画像の掲載は、本展覧会の広報目的の場合に限ります。
- ・画像はトリミング不可です。
- ・画像掲載の際には、キャプションまたはクレジットを明記してください。

画像1



クレジット: ©Hiroshi Kagaku

画像2



クレジット: 『だるまさんが』2008年 ブロンズ新社

◆担当

四日市市立博物館 企画普及係 川端
〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号
TEL:059-355-2702 FAX:059-355-2704
E-mail: hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp